令和 6年　業種別労働災害発生状況

(令和6年 9月末現在)　　帯広労働基準監督署

区分 業種別		令和 6年 (9月末) 死亡	休業4日以上	合計	令和 5年 同期 死亡	休業4日以上	合計	対前年 増減数	増減率(%)	本年分業種割合(%)
全産業合計		4	363 (11)	367 (11)	3 (1)	412 (9)	415 (10)	-48	-11.6	100.0
除く鉱業計		4	363 (11)	367 (11)	3 (1)	411 (9)	414 (10)	-47	-11.4	100.0
製造業		1	56 (2)	57 (2)		66	66	-9	-13.6	15.5
内訳	食料品		33	33		43	43	-10	-23.3	9.0
	木材木製品		12	12		11	11	1	9.1	3.3
	紙・パルプ									
	窯業・土石					1	1	-1		
	金属・機械		5	5		3	3	2	66.7	1.4
	その他	1	6 (2)	7 (2)		8	8	-1	-12.5	1.9
鉱業						1	1	-1		
土石採取業			4	4		2 (1)	2 (1)	2	100.0	1.1
建設業		2	43	45	1	44 (1)	45 (1)			12.3
内訳	土木工事業	2	13	15	1	13 (1)	14 (1)	1	7.1	4.1
	建築工事業		14	14		16	16	-2	-12.5	3.8
	木造建築業		7	7		9	9	-2	-22.2	1.9
	その他		9	9		6	6	3	50.0	2.5
道路貨物運送業			36 (3)	36 (3)	1 (1)	44 (3)	45 (4)	-9	-20.0	9.8
その他の運輸業			2	2		4	4	-2	-50.0	0.5
陸上貨物取扱業										
港湾荷役業			1	1				1		0.3
林業			13	13	1	8	9	4	44.4	3.5
漁業						1	1	-1		
卸売・小売業			50 (1)	50 (1)		34 (1)	34 (1)	16	47.1	13.6
清掃業			18 (2)	18 (2)		30 (1)	30 (1)	-12	-40.0	4.9
その他の事業		1	140 (3)	141 (3)		178 (2)	178 (2)	-37	-20.8	38.4
内訳	農業		14	14		10	10	4	40.0	3.8
	畜産業	1	19	20		40	40	-20	-50.0	5.4
	接客娯楽業		21	21		11	11	10	90.9	5.7
	農業協同組合		10	10		5	5	5	100.0	2.7
	その他		76 (3)	76 (3)		112 (2)	112 (2)	-36	-32.1	20.7

※本統計は、労働者死傷病報告（休業4日以上）により集計したものです。

※（ ）内は、交通事故内数です。

令和６年　死亡災害発生状況

帯広労働基準監督署

発生月	時刻	業種	事故の型	起因物	災害の状況
４月	8時台	畜産業	はさまれ、巻き込まれ	動力伝導機構	牛の餌の混合機が一体となった給餌トラックを運転し、牛の餌やり作業に従事していた被災者が、混合機内のオーガスクリューに巻き込まれ死亡している状態で発見されたもの。
７月	１４時台	自動車整備業	その他	その他の環境	被災者は、同僚が運転するトラクターを牛舎に入れるために誘導していたところ、牛舎内に巣を作っていた蜂に刺されたもの。
８月	8時台	砂防工事業	おぼれ	水	砂防堰堤工事現場において、川岸で測量を行っていた際、川幅約２０ｍの地点で対岸に行こうとした被災者が、水深約１ｍの箇所で川に流され、その後下流約２ｋｍの地点で心肺停止の状態で発見されたもの。
９月	１４時台	上下水道工事業	崩壊、倒壊	地山、岩石	掘削後の配管敷設作業において、掘削深さ約4.2m、幅約1.2mの箇所に立ち入り床均し作業に従事していたところ、側壁の土砂が崩壊し、１名が死亡、１名が負傷したもの。

※　本件事例には、脳・心臓疾患等によるものは、掲載していません。